

5章 各種資料

5-1. 美心会2024年度のイベント	102
5-2. 診療統計	106
5-3. 各種委員会活動	107
編集後記	111



美心祭

医師による医療講演や楽しい催しを通して、地域の皆さまに医療を身近に感じてもらい、病気の早期発見・治療へ結びつけることを目的としています。従来は5月に開催していましたが、2023年より10月の開催となりました。写真は開催前の全体朝礼にて氣勢を上げている様子です。

5-1. 美心会2024年度のイベント

■ 4月1日 入職式

41名の職員が新たに加わり
ました。理事長から辞令を受
け取り、気持ちを新たに新年
度がスタートしました。



■ 4月6日 新入職員歓迎会（於 高崎メトロポリタンホテル）

新入職員による決意表明のほか、余興では部署対抗の“のど自慢大会”や、豪華景品が当たる抽選会を開催しました。大変にぎやかな雰囲気
で新入職員を温かく迎えました。



■ 4月22日 新入職員歓迎 美心会グループ合同研修会 群馬交響楽団コンサート（於 高崎芸術劇場）

新入職員も加わった美心会グループ合
同研修会です。第一部に群馬交響楽団に
よるコンサート、第二部に理事長による
講演が開催されました。



■ 5月 さつきラン&ウォーク 企業対抗戦参加

1か月間ウォーキング、ランニングの促進をおこなうことで運動習慣を身につけ、職員の健康志向の
向上を図ることができました。法人内でも独自のルールで職員同士が競い合い、結果的に企業対抗戦へ
の貢献につながりました。

■ 7月20日・8月3日 子宮頸がんワクチン講演会

HPVワクチン（子宮頸がんワクチン）接種の機会を逃した方の
ための接種「キャッチアップ接種」を多くの人に知ってもらうため
のキャンペーンを企画し実施しました。婦人科部長の酒井医師によ
る講演の後、希望者には当日のワクチン接種や予約をおこないまし
た。



■ 8月2日 夜ラン&ウォーク開催

職員の運動不足解消と健康増進を目的として、アフター6に夜ラン&ウォークを企画しました。4km~7kmくらいを目安に走ったり歩いたり。道中にあるお店の事などいろんなことを話しながら、気ままに走っています。



■ 10月 オクトーバーラン&ウォーク 美心会個人戦

5月と同じく、10月の1か月間で歩数や走行距離をアプリ上で競うオンラインイベントです。ウォーキングの部に82名参加、ランニングの部に24名が参加しました。

■ 10月12日 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024ぐんま参加

がんに立ち向かう方々の勇気を称え、がん患者や家族、支援者と一緒に地域一丸となってがん征圧を目指すチャリティーウォーク活動に参加しました。がん患者さんや医療機関のみなさんと一緒に歩き、共にごんと向き合う連帯感を共有することができました。



■ 10月27日 第29回美心祭開催

屋内では医師講演やダビンチ見学、脳卒中センターの紹介、検査抽選会など様々な催しがおこなわれました。また、屋外では抽選会やキッチンカー、ステージショーで多くの賑わいを見せました。



■ 11月3日 ぐんまマラソン

選手宣誓を黒沢病院が務め、参加者約1万7千人の代表として思い切り良い声で宣誓することができました。地域貢献・健康推進のため、医療従事者を代表して積極的に協力・参加しています。

〔参加者〕美心会グループとヴァレオプロ会員さま総勢114名（フルマラソン39名、10kmマラソン47名、リバーサイドジョギング28名）



■ 11月8日 くろさわ健康文庫寄付

美心祭の売上の一部を近隣の幼稚園と小中学校3校に図書購入費として寄付しています。1992年から毎年寄付をしており、購入した化学や医療などに関する本は「黒沢健康文庫」として各校で親しまれています。



■ 11月9日 ブルークローバー・キャンペーン市民公開講座

伊藤院長による講演と、パネルディスカッションがおこなわれました。50名以上の方にお越しいただき、講演会終了後には希望者へ無料PSA検査を実施しました。



■ 12月1日 ウィンターイルミネーション開始

ヘルスパーククリニック、カーサ・デ・ヴェルデ黒沢、老健くろさわの敷地内にウィンターイルミネーションを設営しました。2月末まで期間点灯をしました。



■ 12月7日 忘年会（於 ホテルメトロポリタン高崎）

1年の締めくくりの忘年会。年間で優秀な成績を残した部署や個人への表彰がおこなわれます。お笑い芸人によるステージショーや、職員による余興もおこなわれ、大変な盛り上がりを見せました。



■ 12月24日 キャンドルサービス

クリスマスの雰囲気を感じていただくため、サンタに扮した各部署のスタッフが入院患者さんやご利用者の方々にプレゼントを手渡しました。感染症対策のため、施設間・病棟間の移動はできませんでしたが、スタッフもささやかに楽しみながら実行することができました。



■ 1月3日 新年会（於 ホテルメトロポリタン高崎）

理事長、副理事長が職員を招待し開催される新年会。理事長からは新年の挨拶、今年一年の美心会の決意表明と抱負が語られ、職員も年始の決意を新たにします。勤続年数に応じた永年勤続表彰のほか、余興ではジャズバンドによる演奏がおこなわれました。



■ 2月3日 節分

「病鬼」を追い払うため、施設内各出入口で豆まきを実施しました。ここ数年、美心会名物の鬼はコロナに滅入って登場しませんが、理事長の「鬼は～外！ 福は～内！」という大きな掛け声と共にたくさんの豆をまきました。



■ 2月16日 第9回美心会グループ学術大会

大会実行委員長 古谷洋介 統括診療部長 兼
ロボット手術センター長

医療、福祉、介護の持続の可能性を高め、レベルアップを図るために多くの職種が参加し、34演題の発表がおこなわれました。各々の発表に刺激を受け、活発な討論をしたことで、非常に有意義な会となりました。

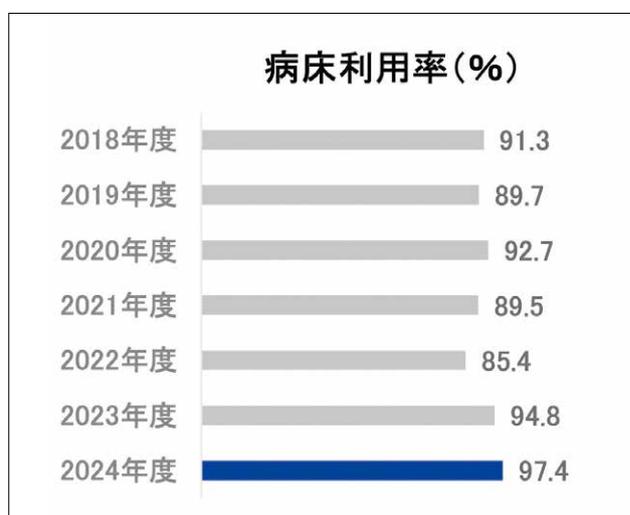
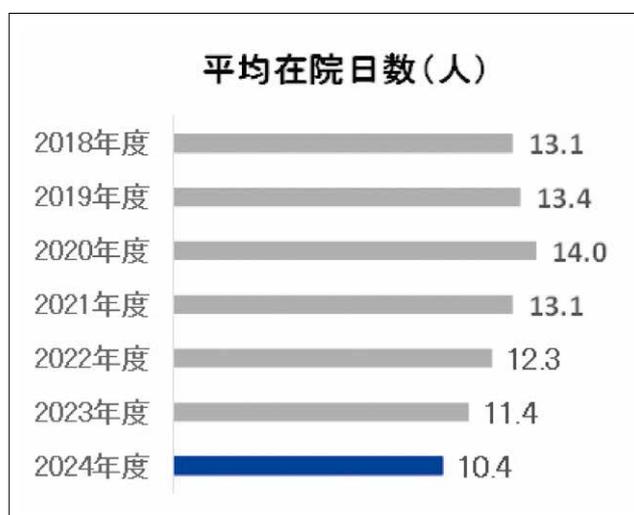
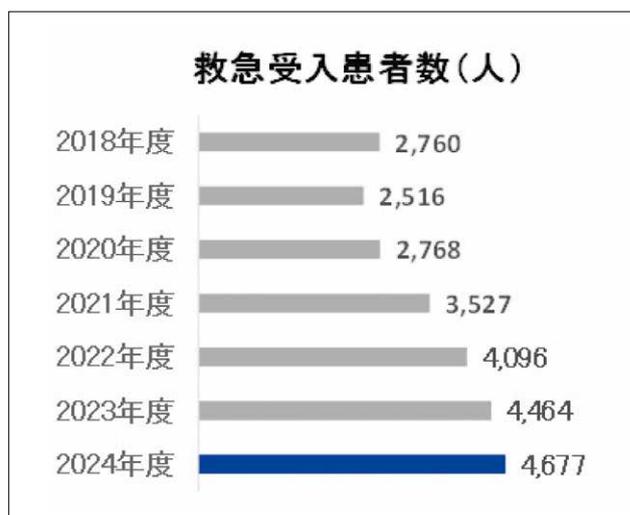
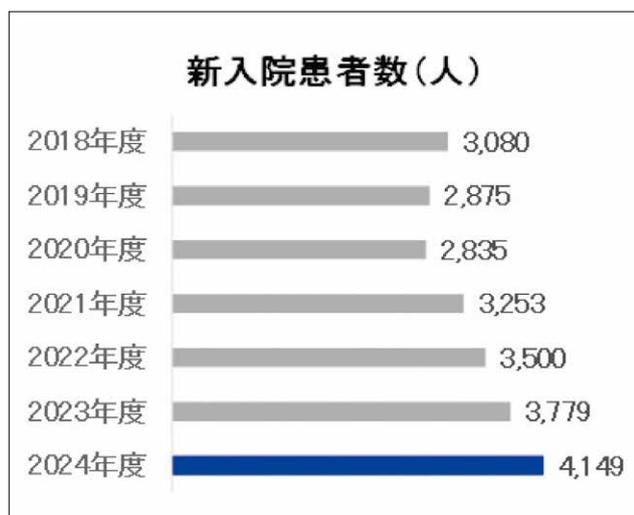
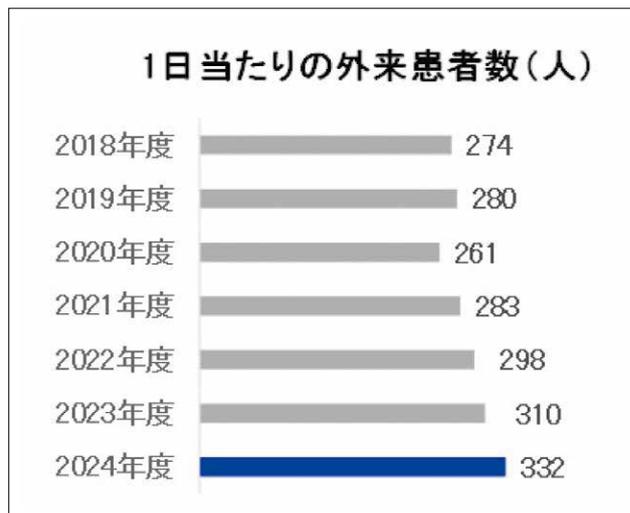
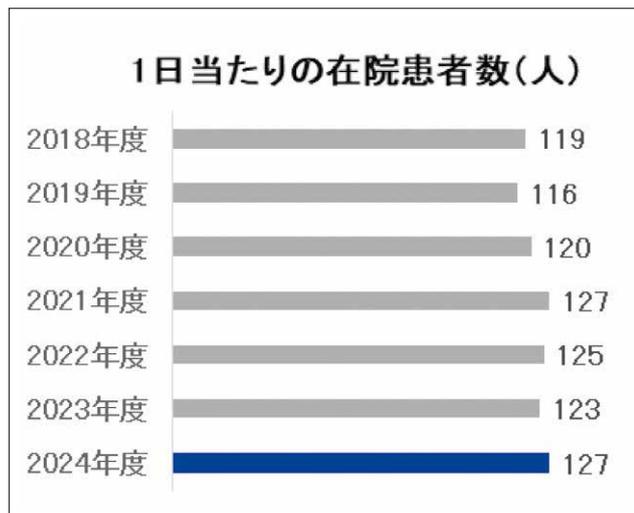


■ 3月30日 健康支援教室（於 高崎芸術劇場）

予防医療の大切さを知っていただくため、人間ドックをご利用いただいた方を対象に開催しています。今回のテーマは「人生120年を元気で生きる」です。第一部に群馬交響楽団の弦楽器奏者によるコンサート、第二部に医師講演4題のほか、健康運動指導士による健康体操や保健師による無料相談を実施しました。



5-2. 診療統計



5-3. 各種委員会活動

■ 主な会議と機能、2024年度の実績など（運営に関する会議・委員会）

会議	機能	2024年度実績
経営推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の意思決定機関 ・経営分析と理事長方針の確認、マネジメントレビュー 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回(2024年度は5/17、11/27)開催。 ・マネジメントレビューを2回実施。 ・経営状況および理事長方針の共有と確認。
部署代表者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の最高意思決定機関 ・理事長方針の具体化と決定 ・ご利用者の方々の人数の定期報告と方向性の決定、各部署からの報告など 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週1回（年52回）開催。 ・感染症を含む刻々と変わる医療状況の共有、対応検討、周知をおこなった。 ・週単位での院内外状況の確認と共有をおこない理事長方針の徹底を図った。 ・黒沢病院およびヘルスパーククリニックの利用者実績定期報告を実施した。
運営会議	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の意思決定機関 ・下部会議や各部署の意見吸い上げ、検討事項や決定事項の審議、確認、承認 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回（年12回）開催。 ・患者、利用者からの意見、クレーム、退院時アンケート内容を共有し検討、対応協議を実施。 ・5Sパトロールによる課題共有、対応方法について協議した。 ・連絡会議からの報告に対して討議検討した。
施設基準管理会議	<ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬での施設基準に関する意思決定機関 ・施設基準の適正な運用管理 ・医師、看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する計画等の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回（年12回）開催。 ・保険診療の質的向上と診療報酬の適正な精度管理をおこなう。 ・施設基準項目の該当主管部署より運用状況報告及び改善検討。 ・診療報酬への理解と、重要性、必要性の認識を向上させる。 ・医師、看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する計画等の報告。
システム運用会議	電子カルテの勉強及び情報の共有化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第二水曜日（年12回）開催。 ・電子カルテ、その他システム利用に関する情報共有、案件報告を実施。

その他、労働安全衛生委員会、図書委員会、医局連絡会議、健診会議、外来部門会議、手術室運営会議、看護部管理会議、総務部管理会議、栄養管理会議、5Sパトロール会議、ISO・Pマーク事務局会議などが稼働している。

■ 主な会議と機能、2024年度の実績など（安全管理に関する会議・委員会）

会議	機能	2024年度実績
安全管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に関する審議と意思決定機関 ・院内の安全管理対策の企画、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回（年12回）開催。 ・院内のインシデント、アクシデントについて状況を共有し、予防策や対応を協議。 ・院外の医療事故情報を共有。 ・医療安全職員研修（年2回開催7月、2月）。
院内感染対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染予防のための意思決定機関 ・院内感染患者さんと職員の健康を守る ・チーム医療としての経済性も考慮する 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回（年12回）開催。 ・新型コロナウイルス感染対策の段階的緩和検討、各種マニュアル作成。 ・職員研修実施（7月、2月）。 ・ICT活動の推進。
DPC精度管理委員会 / 診療録管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディング精度管理機関 ・適切なコーディングのための体制強化 ・カルテ管理に関する意思決定機関 ・診療記録に関する万全の運用、保管管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回（年12回）開催。 ・診療記録の監査報告。 ・DPCデータ報告（詳細不明コード割合、コード変更事例、各症例の事例報告等）。 ・コーディングテキストに基づいて適切な主病名選択やDPC制度の理解を深めた。
薬事委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の採用、変更についての審議、決定機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品添付文書改訂の報告。 ・製薬会社からの情報提供の報告。 ・院内副作用発生報告。 ・抗がん剤・抗生物質の使用状況、新規採用薬の報告、採用薬見直しの実施。
医療機器管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器の管理に関する意思決定機関 ・各部署の医療機器の点検、校正の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回（年12回）開催。 ・各部署における医療機器の修理点検報告。 ・各部署における種々の医療機器購入報告。

その他、輸血検討委員会、精度管理委員会、医療ガス対策委員会、医療廃棄物管理委員会、災害対策委員会、薬品物品管理委員会などが稼働している。

■ 主な会議と機能、2024年度の実績など（患者さんに関する会議・委員会）

会議	機能	2024年度実績
多職種連携会議	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の退院支援に関する部署間調整機関 ・必要な情報を共有し、自宅退院、転院、転所の方向性を調整する ・有効な病床管理及び病床に関する情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週1回開催。 ・退院支援カンファレンス（入院7日以内の患者、DPC入院期間越えの患者、方向性未定患者の確認・調整）。 ・患者サポート窓口からの報告。 ・退院患者のモニタリング報告。 ・「ベッドコントロール会議」も同時開催。
クリニカルパス委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパス作成、導入、運用、管理の意思決定機関 ・当院に多い入院治療ケアパターンを中心に作成し、適宜検討を加える 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回（年12回）開催。 ・パス適用率：47.2%（4,149入院中1,960件）。 ・新規パスの作成、既存パスの見直し実施・抗がん剤プロトコルシステムのパス一体化など新システムを導入。 ・バリエーション統計に対応を実施。 ・定期的な帳票類の入れ替え。 ・トラブルへの対応や対策の立案。 ・手術支援ロボット手術のパス対応。
NST委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養管理に関する意思決定機関 ・NST対象患者についての栄養管理の検討、新規NST対象者の選定 ・NST活動に係る勉強、情報共有化、連絡確認など 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回（年12回）開催。 ・NST実施人数、算定点数報告の実施。 ・栄養補助食品や経管栄養剤の見直しや新規導入検討を実施。 ・栄養管理に関する勉強会を実施。
排尿ケアチームカンファレンス	<ul style="list-style-type: none"> ・排尿自立指導に関する検討機関 ・尿道カテーテル抜去後に下部尿路機能障害が予想される患者さんへの排尿自立指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週1回開催し、排尿自立指導料の実施状況の把握、実施内容、運営方法の評価を実施。 <p>2024年度の実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排尿自立支援加算：925名 2,065件。 ・外来排尿自立指導料：7名 9件。
美心会グループ医療・介護連携会議	<ul style="list-style-type: none"> ・美心会グループの医療、介護間の連携に関する検討機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回（年12回）開催。 ・グループ各事業所の代表者と病院スタッフ間で情報共有と課題検討。 ・各事業所からの状況報告。 ・他事業所への依頼事項の提案及び検討。
褥瘡対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡管理に関する意思決定機関 ・褥瘡・創傷に係る勉強、情報共有化、連絡確認など ・褥瘡発生患者の検討や予防ケアの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回開催（年12回開催）。 ・褥瘡発生者の原因分析予防策の検討。 ・マットレス・車椅子クッションの管理。 ・褥瘡管理に関する勉強会を実施。 ・オムツマイスターの取り組み。

その他、在宅看護委員会、転落・転倒予防委員会、認知症ケア委員会などが稼働している。

■ 第三者評価について

項目	内容	2024年度実績
ISO9001 : 2015	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISOが定める製品やサービスの品質マネジメントシステムに関する規格 ・ PDCAサイクルを回し、美心会が提供する医療サービスの継続的な改善が目的 ・ 2001年12月5日に認証取得：病院としては群馬県で1番、全国では13番目 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO/Pマーク事務局会議を6回開催した。 ・ 1月、7月に新入職者研修を実施。 ・ 3月 27部署の内部監査実施（ISO関連）。 ・ 11月、5月にマネジメントレビュー実施。 ・ 11月、5月に品質目標発表会実施。 ・ 11月 内部監査員養成研修を実施。 ・ 11月 サーベイランス審査実施。
Pマーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一定の要件を満たした団体（医療法人など）に対し、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）が使用を許諾する登録商標 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月に個人情報保護教育研修を実施。 ・ 9月に内部監査実施（個人情報関連）。 ・ 1月に現地審査を受審。
病院 機能評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の質と安全の向上、改善を図るため、日本医療機能評価機構が全国の病院の運営管理や医療について、4つの評価対象領域から成る評価項目で評価 ・ 受審病院は評価結果に基づき改善活動を推進し、病院体制の一層の充実や医療の質の向上に努める（認定有効期間は5年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1998年初認定、2024年に6回目の更新。 ・ 2024年受審では、「地域に向けた医療に関する教育・啓発活動」「救急医療機能の適切な発揮」においてS評価を受けた。 ・ 他に複数項目で概ね高評価を受けた。 ・ 次回更新（7回目）は2028年を予定。
働きやすい 病院評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公益財団法人日本看護協会の後援を受ける特定非営利活動法人ejnetが評価を実施し、「働きやすい病院」認証を付与する ・ 病院の基本方針、体制づくりを評価することで、すべての医療従事者が働きやすい病院のインフラ整備実現を目的としている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産休育児休暇取得率100%を達成、復帰後の子育て支援の充実を図っている。 ・ 職員に対してインフルエンザ予防接種代金の助成をおこなった。 ・ 40歳以上の職員全員を対象に、自己負担無しで脳MR検診を実施。 ・ 20代女性職員の希望者を対象に子宮がん検診を自己負担無しで実施。
健康経営 優良法人 ホワイト 500	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康経営優良法人とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人を評価する制度で、2016年に創設され経済産業省が認定表彰する ・ ホワイト500は「健康経営優良法人」のうち、大規模法人部門の認定上位500法人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2017年より申請し、これまで健康経営優良法人認定を8年連続、ホワイト500認定を通算7回受けている。 ・ 今年度申請した2025年度認定は、大規模法人部門（ホワイト500）において、全3,869社中1～50位の認定を受けた。
ドック 機能評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公益社団法人 日本人間ドック・予防医療学会（旧名：日本人間ドック学会）が実施する第三者的評価事業（2004年から開始） ・ 人間ドック、健康診断の社会的使命である健康寿命を延ばすべく、予防医療の実践と確立を目指して実践されている ・ 認定期間：5年 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2005年に初回認定取得（第31号）以降、2021年までに3回更新。 ・ 2021年受審の際は、人間ドック健診の充実に向けた継続的な改善、サービス面における斬新な取り組み、継続的改善実現に向けた仕組みの確立等が評価された。 ・ 4回目の更新審査は、評価項目が従来の96項目から114項目に増えたVer.5.0で2025年中に受審を予定。

■ 独立した委員会

会議	機能	2024年度実績
治験審査委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 治験もしくは市販後臨床試験に関する調査審議機関 ・ 治験の適正かつ安全な実施のための審査を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不定期開催（2023年度開催無し）。 ・ 黒沢病院の治験実績：TS-172・高リン血症およびMR13A9血液透析患者におけるそう痒症の臨床第3相治験に参加。 ・ ヘルスパーククリニックの治験実績：ZG-802・低活動膀胱の臨床第2相治験に参加。 ・ 上記試験は、第三者機関の外部治験審査委員会にて審議されている。
倫理審査委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究や、臨床的評価が未確立の先端的または実験的治療をおこなう場合の、倫理的観点からの審議をおこなう機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究申請に対応して不定期開催。 ・ 通常審査0件、迅速審査11件（観察研究80件、介入研究3件；修正3件を含む）実施。 ・ 終了3件。 ・ HP公開の承認案件およびオプトアウト案件について、整備・更新を随時実施した。
臨床倫理審査委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 終末期医療における延命措置や蘇生不要指示などを倫理的視点から審査する機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2019年12月に設置、不定期開催。 ・ 2024年度 2件。 「造影CT検査における血管外漏出防止策 造影剤少量注入後の静注部位低線量撮影について」 審議結果:撮影を許可(24.6.4) 「CT/MRI検査テスト撮影について」 審議結果:撮影を許可(25.3.10)

編集後記

2024年度は、診療報酬改定にともない多くの病院が体制の変更を余儀なくされる中、日々の業務をこなすだけでなく、様々な工夫や努力により、より強固な体制を構築することができた年だと感じました。本年報には、その工夫や努力の成果が凝縮されておりますので、ご一読いただけますと幸いです。

（総務部 設楽恭子）

ペーパーレス化、DX化が進んだ1年であり、人事労務管理を効率化するためのクラウドサービスも導入され、職員も試行錯誤しながら徐々に慣れていった1年だったと思います。年報もデジタル化、ということで今年度の年報はホームページでもご覧いただけるようになりました。皆さまの手に取りやすい方法でお楽しみください。

（総務部 須田理保子）

お忙しい中、寄稿して下さりました先生方、職員の方々に感謝致します。また、内容の確認、校正を高率良く進めて下さった須田主任、設楽主任をはじめ総務の方々、どうも有難うございました。本年度、当法人では例年にも増して、最新医療機器の導入やDX化、そして健康経営の充実に力をかけました。それらの進化の様子を本年報より読み取っていただければ幸いです。

（統括技術室 三輪篤史）